



スズメバチの駆除及び費用に対する助成をしています

スズメバチは4月から6月にかけて巣作りのために樹木へやってきます。

巣を見つけたら速やかな駆除が重要ですが、駆除作業には危険が伴いますので、下記をご確認のうえ行ってください。

ハチの巣を見つけたら

スズメバチの巣の駆除は、個人所有の建物及び土地については所有者が処理することとなっていますが、町では下記のとおり取り扱っていますので、住民生活課までご連絡ください。

自己処理する場合：防護服の貸付け及び薬剤を無償で提供します。

自己処理できない場合：町内の指定業者を紹介します。（駆除費用は1万円程度）

【駆除費用の半額を助成します】

町内の指定業者による駆除を行った場合、駆除費用の半額（上限5千円）を助成します。

※事業所は除く。

○手続き 駆除後、住民生活課または健康福祉課住民サービスグループで手続きしてください。

問合せ 住民生活課 ☎ 2940


ペットボトルを利用して巣づくりを予防しよう！

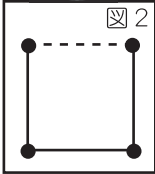


スズメバチの巣づくりを予防するには、トラップの設置が有効です。

トラップ内に仕込んだ誘引剤でスズメバチをおびき寄せ、巣を作らせないようにしましょう！

▶トラップの作り方◀

①ペットボトル（2ℓまたは1.5ℓ）に、 図1のようにマジックで正方形（3cm角四方）を書きます。

②正方形には、 図2のように実線部分を切り、点線部分を折り曲げます。

③ペットボトルには誘引剤（作り方は下記を参照）を入れ、よく混ぜます。

④ペットボトルの口部分にヒモまたは針金をつけて、1～3mの樹木の高さに設置します。

～誘引剤の作り方（2ℓボトル用）

【用意するもの】 焼酎 300ml、砂糖 小さじ3杯程度（焼酎がなければ、日本酒やオレンジジュースでも可）

【作り方】 ボトルに合わせた分量の焼酎と砂糖を、ペットボトルに入れ、よく混ぜるだけで誘引剤ができます。

設置の際の注意事項

1. 吊るす場所は、人通りが少なく子どもの手が届かない場所、また、誘引剤の蒸発を防ぐ日陰などを選びましょう。

（以前にスズメバチが巣を作ったことがある場所などには効果的ですが、あまり捕まらない場合は場所を変えてみましょう。）

2. トラップの設置や撤去は安全のため、スズメバチの活動していない早朝か夜間に行ってください。

なお、設置の際にハチが寄ってくる場合もありますので、トラップの蓋は設置してから開けましょう。

取替・撤去の注意事項

○トラップ内に多くのハチが入ると、死がいの上で生きていたり、死んでいても、ハチの針が刺さる場合がありますので、注意しましょう。